

くぐれんテグス君と電気柵による カンショの鳥獣被害対策（檜葉町）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 カンショ栽培における効果的な鳥害対策の実証（檜葉町）

担当者 小野 司

I 新技術の解説

1 要旨

営農再開地域のカンショ栽培では、定植直後のカラス等による苗の抜き取り、生育初期のウサギ等による食害、収穫前のイノシシやアライグマ等による食害が懸念されている。そこで、くぐれんテグス君と電気柵を設置したところ、カンショの鳥獣被害を防止することができた。

- (1) 防護柵は、周囲を防鳥ネットで囲い、テグスを取り付けたダンポールを、1m 間隔に設置した（くぐれんテグス君、図 1）。さらに、防鳥ネットの外側にイノシシ用電気柵（高さ 20 cm、40 cm）を設置した（図 2）。
- (2) 50m×150m のほ場で高さ 3m の機械作業を想定した資材費用は、100m 当たり約 8.4 万円（防鳥施設：5.7 万円、電気柵：2.6 万円）となる（表 1）。ただし、短辺と長辺の差が小さければ 100m 当たりの単価は小さくなる。
- (3) くぐれんテグス君及び電気柵を設置したカンショほ場では、鳥獣被害は認められなかった。
- (4) 他品目の露地栽培にも応用できる。

2 期待される効果

- (1) カンショ栽培における鳥獣被害対策に活用できる。

3 活用上の留意点

- (1) くぐれんテグス君は、(国研)農研機構 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域 鳥獣害グループが 2013 年に開発した。
- (2) 防護柵の高さと設置ルートは、使用機械の高さと旋回スペースを考慮して決定する。なお、ほ場への出入口は、短辺側にすることが望ましい。
- (3) 定期的に見回りをを行い、テグス間隔の広がりや垂れ下がりを修正する。

II 具体的データ等

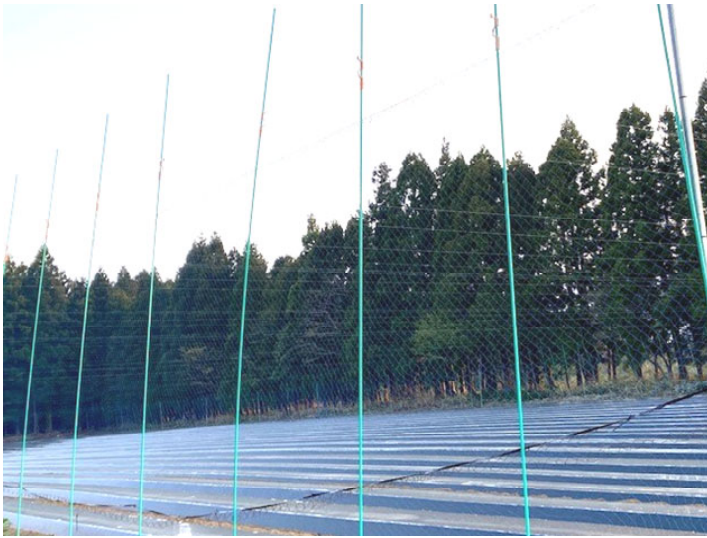


図1 防鳥ネットの上部にテグスを設置
(くぐれんテグス君)

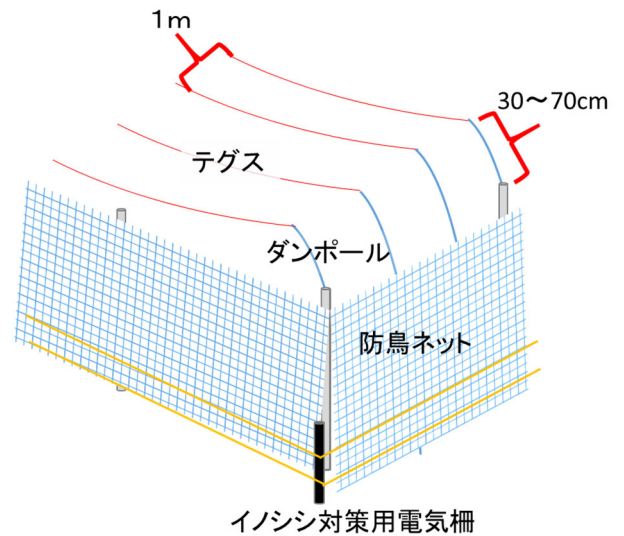


図2 鳥獣被害防止柵の概略図

表1 鳥獣被害防止柵に必要な100m当たりの資材費用

防護柵	資材	仕様	個数	価格	計
くぐれんテグス君	ダンポール ※1	φ10.5mm×4m	75	465	34,875
	シャクトリムシパッカー	10mm用	150	22	3,300
	テグス	φ0.33mm*1000m	1	1,100	550
	直管パイプ ※1	φ25.4mm*1.2mm*3600mm	10	675	6,750
	防鳥ネット ※1	800dl 30mm 1.8m*54m	4	2,500	10,000
	パッカー	25mm用	25	21	525
	バインド線	特太 1.5mm*200m	1	1,300	650
	小計				56,650
電気柵	小計 ※2				26,000
	合計				82,650

※1 外周:50m×150m、機械の高さ3mを想定した資材

※2 福島県営農再開支援事業における鳥獣被害防止施設の上限単価より算出。本体、支柱、通電線、アース棒、ゲートハンドル等を含む

III その他

- 1 執筆者 小野 司
- 2 実施期間 令和2年度
- 3 主な参考文献・資料 果樹園のカラス対策「くぐれんテグス君」設置マニュアル(国研)農研機構 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域 鳥獣害グループ